

認定こども園
 対象年齢は0～5歳で、の働き方にかかわらず、子どもを預かり、保護と教育を行う。3日の利用は4時間で、育を行う場合は8～11時間

保育所
 対象年齢は0～5歳で、主に共働き家庭の子どもを保育。1日の利用は8～11時間



親の働き方問わず預かる

Q 「認定こども園」って、どんなところなの？

「認定こども園」って、子育てと運動したり、歌を歌ったりして過ごす園と同じよう

Q どうしてこども園がで

て過すよ。3歳以上の子どもは、幼稚園と同じよう

預けた所の数が少ないんだ。がこども園は待機がなくて済みます。

安心の設計

介護・地域医療 組織超え連携

介護や地域医療の現場で、複数の事業者が組織の枠を超えて連携する動きが広がっている。異なる社会福祉法人の職員を集めた統一研修や、地域の事業者同士によるチームケアに役立てるための計画表づくりなどが進められている。

(中村剛)

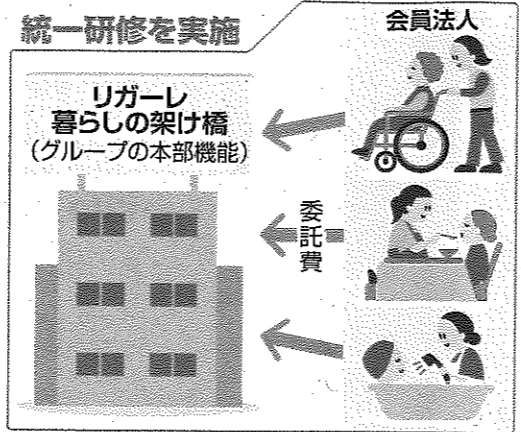
■新たに法人設立

京都市中心部の研修施設に5月31日、同市や京都府京丹後市、滋賀県東近江市にある社会福祉法人の職員20人以上が集まった。京都市の社会福祉法人「リガール暮らしの架け橋」が開く「統一研修」の受講者たちだ。

この日の研修は数人のスタッフを束ねる現場リーダーが対象。チームケアのあるべき姿やリーダーとして求められる行動などの講話に耳を傾けたり、受講者同士で議論をしたりしていた。

リガールは、特別養護老人ホームなどを運営する中小規模の社会福祉法人同士が連携

◆社会福祉法人による連携事業のイメージ



計画表で互いに進行把握

在宅ケアでは、様々な事業者がかかわるため全体像が見えづらく、事業者間の連携が課題だ。そこで、他の事業者との効率的な連携などを目標として工夫するグループも出ている。

東京都世田谷区の「三軒茶屋リハビリテーションクリニック」の長谷川幹院長らが2015年から取り組むのは、大腿骨頸部骨折を経験した高齢者を対象にした在宅ケア版の「クリニカルパス」(診療計画表)の作成と利用だ。

在宅ケアは全体像見やすく

ケアに関わる人同士が互いに他の人の取り組みを把握するなど、相互理解を進める工夫という。

計画表は、医師やケアマネジャー、ヘルパー、理学療法士ら各職種ごとのシートに分かれる。それぞれ「退院前」「初回訪問」「訪問開始から3～4週目」「6～8週目」「8～12週目」と時期ごとに、「自主トレーニングの重要性を説明」「住宅改修を具体化」など、やるべき説明や準備などが列記される。利用者や家族向けのシートもある。

参加機関は世田谷区内の15事業者に増えた。また、脳卒中の患者用のものを作成中で、 Parkinson病など別の病気の患者用も手がける考えという。長谷川院長は「一緒に作ったパスを使うことで、ケアに関するお互いの理解度が格段に上がった」と話している。

合同で研修 ■ 人事交流も視野

SVの村田麻起子さんは「自分の力で問題を解決できる人材を育てる」ことが研修の目的だ。違う法人の職員が定期的に集まって、将来の人事交流の基礎にする狙いもある」と説明した。

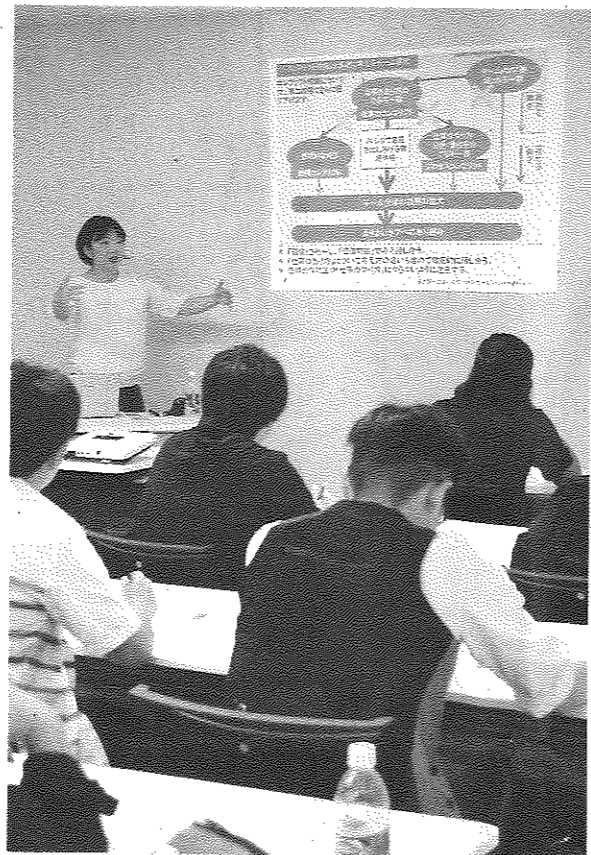
地域も幅広く参加
 中核会員は京都、滋賀、青

森3府県の7法人。研修は新卒や採用2年目、役職者向けなど、勤続年数や職位ごとに設定され、介護福祉士資格の取得に向けた研修もある。会員法人の六心会(滋賀県東近江市)の辻重部長は「独自に

ここまでの内容の研修を作り上げるのは難しい。参加する職員は、悩みながら自分なりに目標とする職業像を作ってほしい」と期待する。

研修に参加した平野七恵さんは「他の施設の人と話

リガールの山田専志理事長は「介護の質を高めて地域への貢献を進めるためには人材育成が不可欠だ。将来的にはグループ一括の職員採用や、法人の枠を超えた人事交流を実現させたい」と語った。



統一研修を受ける受講者たち(5月、京都市で)